

CROQUIS
JAPONAIS
PAR
G. Bigot.

1886.

TOKIO

ジョルジュ・ビゴー展
碧眼の浮世絵師が斬る明治
2009年7月11日(土)↓8月23日(日)
○東京都写真美術館 2F展示室



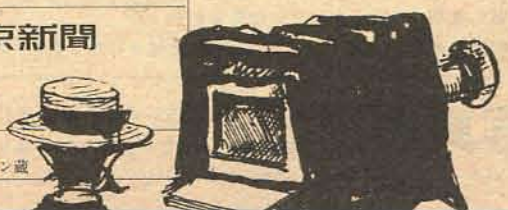
主催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、東京新聞
協力 NECディスプレイソリューションズ株式会社
観覧料 一般800(640)円、学生700(560)円、中高生・65歳以上600(480)円
*カッコ内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員 *小学生以下および障害者
手帳をお持ちの方とその介護者は無料 *第3水曜日は65歳以上無料
開館時間 10:00～18:00(木、金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで
休館日 毎週月曜日(ただし7月20日は開館し21日は閉館)
WEB www.syabi.com

東京都写真美術館

東京新聞

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) TEL.03-3280-0099

『クロッキー・ジャポネ』表紙 1890年版 及川茂コレクション蔵
『釣りの勝負』『トバエ』第2次第1号(1887年2月15日発行)より 横浜開港資料館 ブルーム・コレクション蔵



文明開化の時期に来日したフランス人画家、ジョルジュ・ビゴー(1860-1927年)。急速に近代化する日本を目の当たりにした彼は好奇心と親しみを持って、さまざまな日本の情景を描き、その姿を西洋に伝えました。

本展は初めて、ビゴーの全生涯を明らかにする展覧会です。来日前の新聞や雑誌への挿絵から、日本で出版した『あさ』、『おはよ』、『また』、『クロッキー・ジャポネ』などの画集や、歴史教科書で著名な、「釣りの勝負」が収録される雑誌『トバエ』、そして帰国後の風刺画やエビナール版画など、ビゴーの仕事全体を網羅しました。そして、偶然にも近年発見された『クロッキー・ジャポネ』のオリジナル銅版を展示するとともに、この原版数点からのプリントも試みます。

その他写真美術館ならではの試みとして、幕末や明治初期の風俗、磐梯山の噴火、日清戦争などを被写体とする日本の初期写真を併せて紹介することにより、写真史からみたビゴーの魅力と、ビゴーを魅了した日本の姿にせまります。



『釣りの勝負』『トバエ』第2次第1号(1887年2月15日発行)より
石版 横浜開港資料館 ブルーム・コレクション蔵



『磐梯山の周辺』『トバエ』第2次第36号(1888年8月1日発行)より
石版 及川茂コレクション蔵



田中美代治『磐梯山・蒸気噴出』
1888年 鶏卵紙に手彩色
東京都写真美術館蔵



『日本人生活のユーモア』より表紙 1899年
石版 及川茂コレクション蔵



エビナール版画
『パン屋の Rond / ミスタン・レル』
石版に型紙(ボショワール)で彩色
及川茂コレクション蔵



『魚売り』『クロッキー・ジャポネ』より
銅版画 及川茂コレクション蔵



下岡蓮杖『題不詳(豆腐売り)』
東京都写真美術館蔵

GEORGES BIGOT

カフェ・トーク

タイトル:ジョルジュ・ビゴー展 カフェ・トーク

ゲスト:ジョルジュ・ビゴー展監修者 及川茂氏(日本女子大学教授)

日時:7月17日(金) 18:00～20:00

定員:35名

参加費:1,000円

(観覧料・ドリンク[ソフトドリンクorベルギービール]代金込)

会場:東京都写真美術館2F展示室および2Fカフェジャンブル クレール

申込方法:往復はがきで、申込者の氏名、送付先をご記入の上、下記の宛先へお送りください。(先着順)

宛先:〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 東京都写真美術館
ジョルジュ・ビゴー展 カフェ・トーク係

※ただし、定員に達し次第、メ切とさせていただきます。

※なお開催日、にお席に余裕がある場合に限り、当日受付をいたします。

フロア・レクチャー

7月17日、31日、8月7日、21日の各金曜日午後4時より担当学芸員による展示解説を行います。展覧会チケットの半券(当日有効)をお持ちの上、2階展示室入口にお集まりください。なお7月17日は本展監修者の及川茂氏によるレクチャーになります。

アクセス



JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
当館には専用の駐車場はございません。
お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099
URL: http://www.syabi.com